

まちづくり懇話会で寄せられた意見（要約）

両川地区

	案 件	回 答
1	<p>昨年、防災士の資格を取得しました。合格しましたよという証書はいただきましたが、市から何ひとつ情報提供がありません。防災士としてどのような取り組みを行えばよいのでしょうか。</p>	<p>防災士の方々には地域の防災リーダーとして、自治会や自主防災組織などと連携して防災訓練や防災学習会などを実施していただいています。また、宇佐市が主催する年2回の防災士スキルアップ研修や大分県主催の防災士活動推進大会などへの参加を促し、知識や技能の向上を図っています。</p> <p>なお、新規に防災士の資格を取得された方につきましては研修などの日程上、翌年から案内を行っていますのでご理解ください。</p>
2	<p>北山地区には、もう何十年も前に個人で作った水槽が3つあります。農業用として使っていたものです。必要であれば防火用水として使ってほしいという気持ちは持っていますが、現在個人の所有する水槽はノータッチです。老朽化のため水漏れをしてなかなか溜まりにくいという状況なので、万が一のために公共の防火水槽として管理を行い補修などかできないのでしょうか。</p>	<p>北山地区の農業用水槽につきましては、消防の水利を兼ねて長年利用させていただき感謝しています。ご意見をいただきました防火水槽の修理につきましては、公設であれば地元の一部負担も併せて協議をさせていただくことがあります。老朽化が進み何らかの対策が必要かとは思いますが、私設の水槽は市内に数多く散在するため、公費による補修は行っていません。</p> <p>現在、市では費用対効果を考慮し、耐震性のある貯水槽の新設工事を進めています。新たに貯水槽を設置するためには、市への無償提供を条件に設置場所の確保をしていただき、地元区長さんや管轄の消防分団長などと協議を行ったうえで要望書を提出していただいています。設置にあたって地元負担金などは発生しませんのでご検討ください。</p>
3	<p>宇佐文化会館の資料展示室は、現在改修が予定されています。そこを市民ギャラリーにしてはどうでしょうか。みんなが美術だけではなくて色々な表現の発表の場所として活動できるように整備をお願いします。</p>	<p>宇佐文化会館の資料展示室は設備などが整っていないため、現在は無料で使用できるようになっています。市民ギャラリーとして利用するためには、かなりの部分を改修する必要があります。市としましても、市民のみなさんが気軽に文化に触れることが出来るような場所が必要であると考えています。</p> <p>より使いやすい施設となるよう、文化協会をはじめ関係団体などの意見を伺いながら、前向きに検討していきたいと考えています。</p>
	<p>よく図書館に行きますが、休みが多かったり、夕方早く6時くらいに閉まったりするのでなかなか利用がしづらいです。</p>	<p>開館時間の延長や飲食スペースの提供につきましては、図書館にも多くの意見が寄せられています。特に休館日と開館時間につきましては、皆様からお寄せいただいた様々なご意見や満足度アンケートの結果、利用状況の実態などを踏まえ、他館の状況なども参考にしながら運営</p>

4	<p>また、他市のようにコーヒーを提供するスペースなどがあれば利用者も増えるのではないかと思います。</p>	<p>の改善を図り、これまでも元日を除くすべての祝日に開館する取り組みなどを行っています。</p> <p>お寄せいただいたご意見を実現させるためには、それに係る経費や人員の確保など様々な条件整備、環境整備が必要となります。これからも市民の皆様のご意見を真摯に受け止め、経費や利用者見込みなどに関して協議を重ね、今後の図書館の運営について総合的に調査・研究を行ってまいります。</p>
5	<p>中学生の短期留学を支援する事業はグローバル化の波に乗って素晴らしいことだと思います。その反面、補助金を出して宇佐市もこんな良いことをしていますよというパフォーマンスのようにも思えて仕方ありません。この支援事業に対する今後のあり方について聞かせてください。</p>	<p>中学生の短期留学事業は今年で3年目を迎えました。この事業は次代を担う中学生を海外に派遣し、外国での生活体験を通して見聞を広め、豊かな国際感覚を身に付けた人材の育成を目的に実施しています。これまで参加した多くの中学生からは、「生活習慣の違いはもちろん、生き方や考え方の違いに驚き考えさせられた」「英語は勉強というより、人がコミュニケーションするための手段であることがわかった。もっともっと意欲的に取り組みたい」「外国の文化や生活の様子を肌で感じ理解できたが、改めて日本や日本人について考えることができた」、「両親や祖父母のありがたさを感じた。感謝したい」など、生徒の心の変化が伺える意見をいただいています。</p> <p>帰国後の学校生活では、意欲的な学業への取り組み、生徒会の役員選挙に立候補し積極的に活動するなど、参加した子どもたちが変容したと保護者から感謝の声も多数寄せられています。今後は、事前研修や事後研修の内容をさらに充実できるよう努め、子どもたちの誇りと希望、そして夢を育成していく取り組みにしていきたいと考えています。</p>
6	<p>この地区に限らず田舎の方に行くと危険なため池がたくさんあります。このため池について、市としてどういう指導をしているのか聞かせてください。</p>	<p>現在、いろいろな箇所のため池が危険だにご連絡を受けています。その都度、耕地課に報告して現地の確認を行い、どのような形であれば危険な要因を軽減できるのか協議をしているところです。</p> <p>また、国や県の事業などもありますので、地元の皆様からの要望を受け、どういう改修ができるのか、対応について協議しているところです。両川地区でそういう危険な場所がありましたら、ご相談いただければ職員などで現地に出向いていきたいと考えています。</p>
7	<p>防災士の活動について、市としてどういう取り組みを行っているのか教えてください。</p>	<p>防災士の資格につきましては、消防の側からしましても、1名でも多く院内地域のみなさんにも取得していただきたいと考えています。院内地域にはダムがありますので、放流に向けての避難訓練など支所や消防と合同で、防災士や地域のみなさんにご協力をいただきながら、今後訓練を計画して行きたいと思っております。</p>

8	<p>香下ダムの周辺の立木が覆いかぶさりトンネルのようになっています。下の方にある丈の短いものは、年に1回草刈りを行っていますが、高い所はどうしようもありません。ダム周辺の環境整備についても対策を検討していただけないでしょうか。</p>	<p>ダム周辺の環境整備につきましては、市道となっていますので歩道はある程度の年次計画を立てて路面のオーバーレイをしながら舗装の整備を行っているところです。</p> <p>道路を覆っている支障木につきましては、いろいろな所で道路の通行の妨げになるというお話を聞いています。その分につきましては2～3年くらい前から年次計画を立てて撤去を行っているのですが、院内地域はそういうところが多いため、なかなか要望に応えられていないのが現状です。今後も計画的に、支障木の撤去を行っていきたいと考えています。</p>
9	<p>国道387号沿いの環境保全ですが、鳥居橋周辺は以前に比べて随分と様子が変わって立派になりましたので、継続して行っていただきたいと思っています。</p> <p>これからの見通しとして何カ所くらいどういう整備計画を立てているのか聞かせてください</p>	<p>国道387号沿いの石橋の環境整備につきましては、鳥居橋・御踏橋・荒瀬橋・分寺橋周辺の支障木などの撤去を行っています。それと併せて今年で3年目となりますが、院内支所では、石橋周辺環境整備事業ということで年間予算300万円の事業を行っています。この事業の内容は、院内地域に75基の石橋が残っていますがその管理費として1基あたり1万円ずつ交付しています。残りの225万円は、5地区のまちづくり協議会にお願いをして、年間計画を立てて環境の整備を行っていただいています。鳥居橋の整備を最初に行い、次に富士見橋で実施しています。そういう形で年間の計画を立てていますので、その中で今後実施をしていきたいと考えています。</p>
10	<p>プレミアム商品券についてですが、両院においては購入限度額が1口15万円くらいだったと思います。宇佐市で販売したものと少し違います。両院の地域性ということを少し考慮して、そういう販売をしたのだと思いますが、もう少し幅広く多くの人に行きわたるようにするため、宇佐市と同じような金額で良いのではないかと思います。販売所に行ったら売り切れていたということも聞きました。購入上限金額を下げても広く行き渡るようにしていただきたい。</p>	<p>プレミアム商品券につきましては、平成21年から販売を開始しています。特に今回は経済対策として「まち・ひと・しごと創生」の関係から宇佐市では総額7億4,400万円分の商品券を販売する予定です。先般そのうちの半分を販売し、11月初旬に残りを販売する計画を立て、宇佐商工会議所と宇佐両院商工会の協力により取り組みを行っています。</p> <p>販売額についてですが宇佐商工会議所の場合は1人10万円、両院商工会の場合は1人5口5万円。1世帯あたり15口15万円までという形で販売を行っています。特に2割増しということで非常に人気となり、新聞にも掲載されたように販売方法についてはいろいろと問題があったとご指摘を受けています。</p> <p>販売にあたりましては、国から予算が来た時にどのような方法が良いのか協議を行いました。これまで通り1割で販売した方が良いのではないかという意見もありましたが、大分県下の市町村は全てプレミアム率を2割にして販売を行うという方針が出されましたので、足並みをそろえた経緯もあります。販売方法につきましては、後半はどのような方法で販売を行えばよいのか課題があることを、商工会議所や両院商工会なども認識しています。今後、色々議論を重ね、創意工夫して販売を行っていきたいと考えています。</p>

11	<p>空き家の活用についてですが、市内全体で空き家の戸数がいくつあるのでしょうか。先程、10組19人が移住してきたと報告がありましたが定住希望であるのかということ。そういった方はどのような職業に就いているのかということ。どこから移住されたのかということ。年齢はどのくらいの方なのかということ、について聞かせていただきたいと思います。</p>	<p>定住促進事業について、これまでは来る側に情報を提供するだけで、なかなか地元には情報が届いていなかったという課題がありました。今年度から、区長さんをはじめ受け入れる地域住民の方などが協議会として受け入れる体制を構築して、無償ということではなくてきちんと奨励金などをお支払いしながら双方の中で良好な人間関係をつくれるような空き家対策や移住・定住の取り組みを進めています。</p> <p>空き家につきましては、需要が高く良い物件はすぐに入居者が決まってしまう。まだまだ案内をすれば、毎週のように問い合わせがあります。現在、2名の定住支援員を配置して担当係の職員も一緒になってそういった方への対応を行っています。この取り組みにより、先程お話をさせていただきました、地域とのパイプとなるように対応しているところです。一気に個人の情報を提供することは難しいかもしれませんが、そういった形で地域のみなさんとお互いの情報を共有しながら取り組みを進めていますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。</p>
12	<p>北部小学校の児童クラブは4月1日から開所を行いました。当初の予定では建屋を6月に建設を開始して10月には使用できるということだったのですが、建設の方が遅れています。1日も早い完成となるようお願いします。</p>	<p>児童クラブの建設については、当初早めに建てる予定でしたが補助金の内示が遅れたため、まだ着工できていません。先般、補助金の内示が出ましたので8月下旬に入札を行い、年内には建設ができるものと考えています。</p>
13	<p>鳥居橋が1916年（大正5年）に築造され、来年で100年になります。100周年記念について市長さんとしてはどういった想いを持たれているのか、何か計画などありましたらお聞かせください。</p>	<p>鳥居橋が築造されてから来年でちょうど100年を迎えるということで、来年度は全国石橋を愛する会の総会を院内で開催できるよう誘致をしています。</p> <p>院内にまちづくり協議会が全部できたのを契機に石橋の保存協議会をつくってそれぞれ300万円ずつ措置をしています。今まで文化財に指定されていた12橋だけを2千円ずつしか出していなかったものを75基全部もれなく1万円ずつ措置をして、残り225万円で支障木を除去していこうということで、それぞれ協議会の方をお願いしているところです。</p> <p>また、国土交通省に働きかけを行い石橋の調査を実施しました。先般はそのシンポジウムを開催して、石橋といえば院内という様に全国的にも認知をされているところです。今年は387号の沿線からここは石橋の郷だということが車窓からもわかるようにしようということで一番目立つ4つの橋の支障木を除去しています。75基全部に対して取り組みを行いたいとこ</p>

		<p>ろですが、一度には難しいので一番見えるものから対策を行っています。</p> <p>併せて今、文化庁に重要的景観に何とかならないかということで内々に働きかけを行っています。今後、そういった石橋とセットになるものを検討し継続して働きかけをしてみたいと考えています。鳥居橋の100周年はその一つのきっかけになるのではないかと感じています。</p>
14	<p>イチゴの生産者が高齢化でどんどん少なくなっています。イチゴのロットを確保してイチゴの産業を発展させるため、部会では新規就農者の確保あるいは規模拡大という取り組みを進めています。しかし、新規就農者が新たにハウスを導入するためには1反で3,000万円も必要なため手が出ません。そのためリースとかレンタルによる取り組みを計画していますので、また時期がきましたらよろしくをお願いします。</p>	<p>担当となる農政課に、リース団地の計画について先々生産部会の方からお話があるということをお伝えします。</p>
15	<p>香下地区では昭和42年に農業構造改善事業でキリュウからし尿処理場まで30haの圃場整備を行いました。その際、川沿いに幅員2mの管理農道が950mくらい整備されています。当時は耕運機とかだったので往来ができていたのですが、現在は大型農機具やトラクターに替わり管理農道を通行することができません。管理農道を使ってトラクターなどが往来できるようにしていただくと有り難いと思います。</p>	<p>キリュウからし尿処理場までの管理道の整備につきましては、大規模な事業となりますので耕地課と協議をしています。中山間事業が本年度見直されますので耕地課と手続きを行う中で、事業を入れてもらうようにこちらからもお願いしているところです。また、何かといろいろな要件などもありますので再度協議しながら進めていきたいと考えています。</p>
16	<p>6次産業の中で商品開発などを行っていますが、残念ながら宇佐神宮に行ったときに地元の人は何を買って帰るのだろうと思います。宇佐神宮は宇佐市観光のメインだ</p>	<p>6次産品につきましては、農政課と観光まちづくり課で連携しながらPRを行っているところです。6次産品の展示をしていただけるお店というのは増えてはいます。インターネットを利用して注文していただくショッピングサイトにつきましては、現在充実を行っているところです。</p>

	<p>ということからしてそういうみなさんが好んでお土産でも買って帰ろうかというようなものが6次産品の中にあるのかどうかお聞かせください。</p>	<p>ご指摘の宇佐神宮のお土産につきましては、仲見世にも6次産品を取り扱っている商店があります。すべての商店に取り扱ってもらうことはなかなかできませんが、引き続き宇佐神宮のPRはもとより宇佐の観光だけでなく物産の販売にも当然力を入れながら取り組んでいきたいと考えています。</p>
17	<p>御沓の石橋の環境整備で、支障木などを除去するのは良いのですが、香下の水路がすぐ側を通っています。その中に除去された木や草がたくさん入れられていました。たまたま水路の見回りを行っていて気が付きました。もっときちんとした業者に委託することはできないのでしょうか。</p>	<p>環境整備の一環として御沓橋の周辺の整備を行いました。その際、業者の後始末が悪くて香下の水路に大変ご迷惑をおかけしまして申し訳ございません。業者には速やかに対応してもらいましたが、今後このようなことのないように指導してまいります。</p>